

IGF 2023報告会振り返り

2024年1月22日

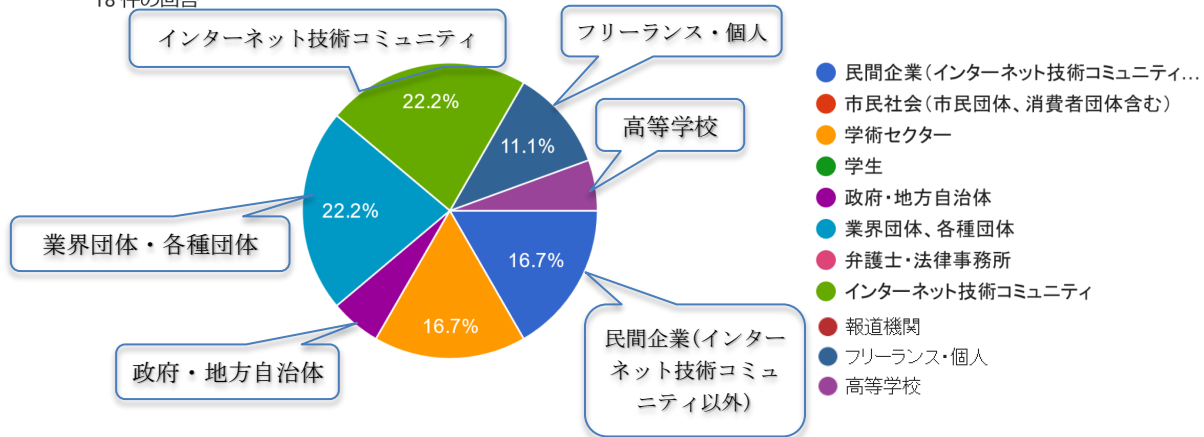
参加者数統計

- 26日：現地19名、遠隔42名、計61名
- 27日：現地13名、遠隔41名、計54名

アンケート集計結果

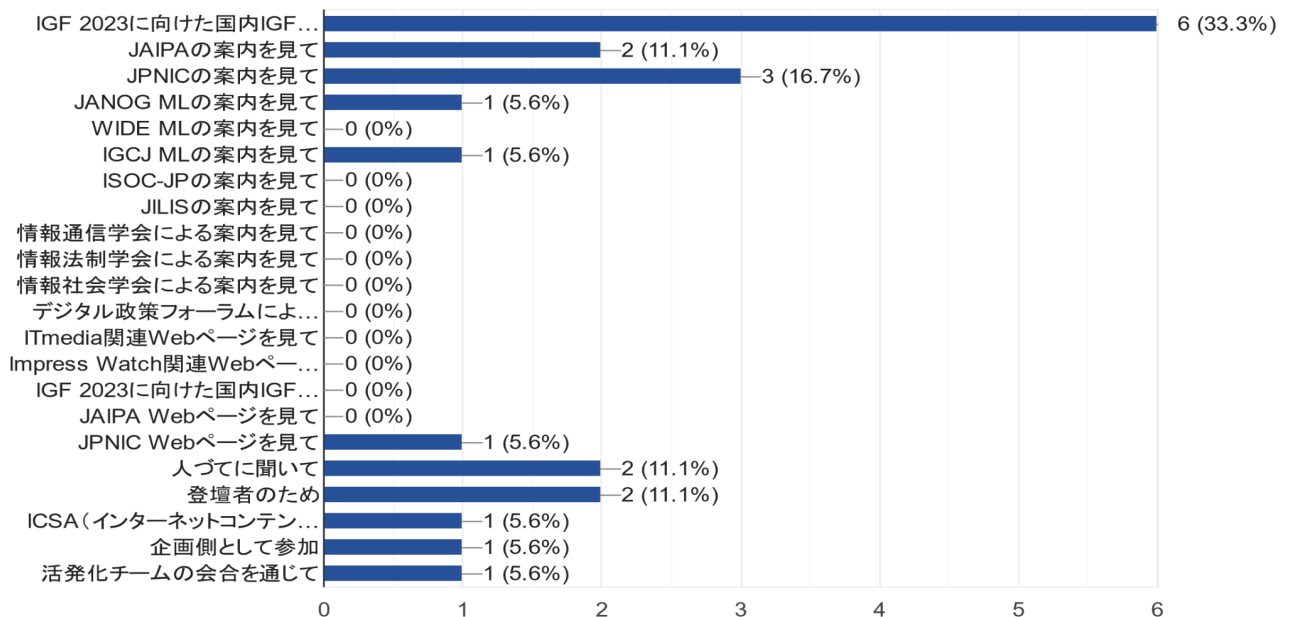
ご所属組織について該当する種別に印を付けてください。

18件の回答



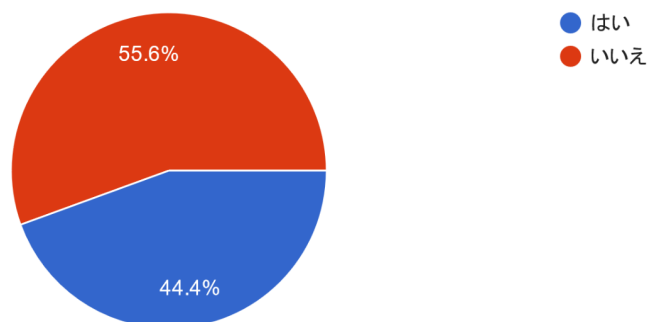
本イベントをどのようにしてお知りになりましたか。

18件の回答



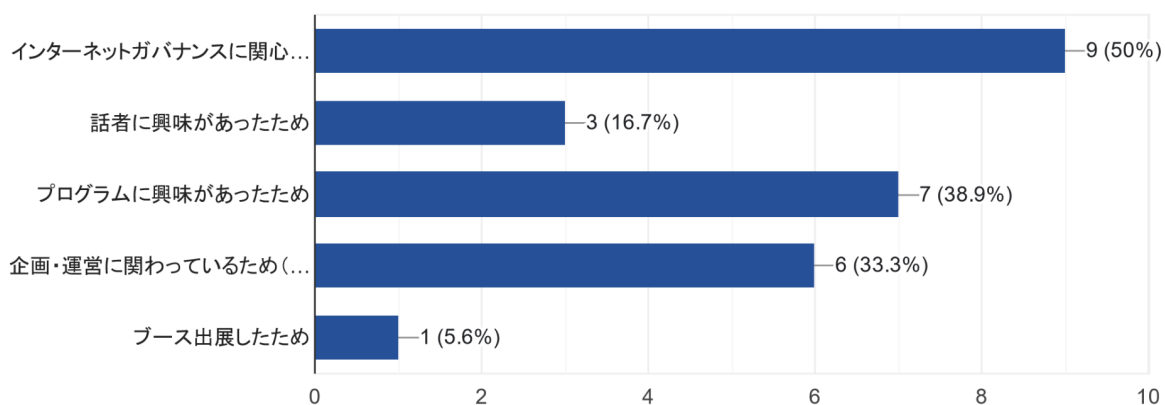
インターネットガバナンスを扱ったイベントへの参加は初めてですか？

18件の回答



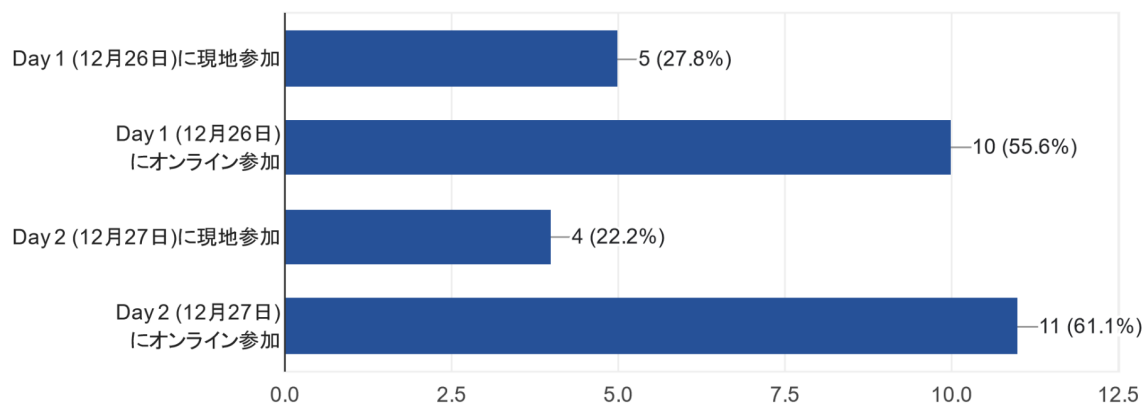
本イベントに参加した主な理由について該当するものをお答えください。（複数選択可）

18件の回答

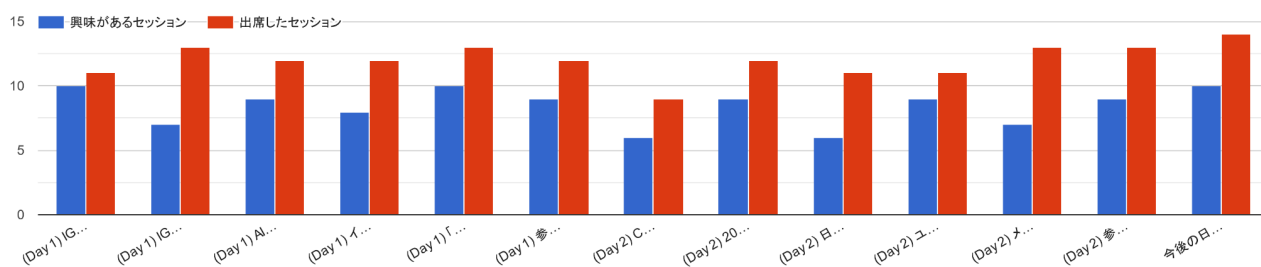


参加日程についてお答えください。

18件の回答

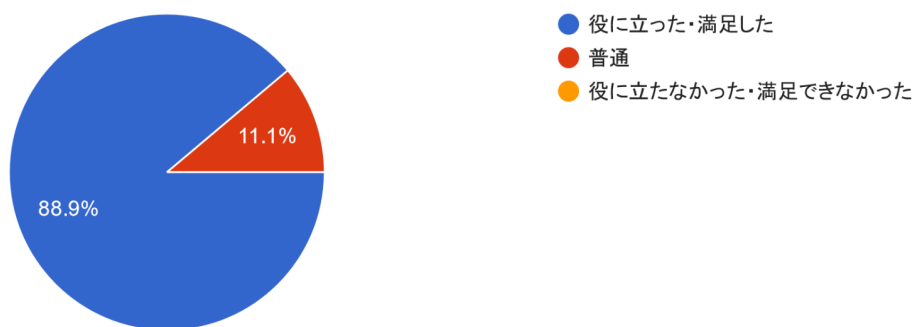


プログラム中の各セッションについて、「興味があるセッション」[*]、「出席したセッション」は参加できなかったものでも印をつけていただいても構いません。

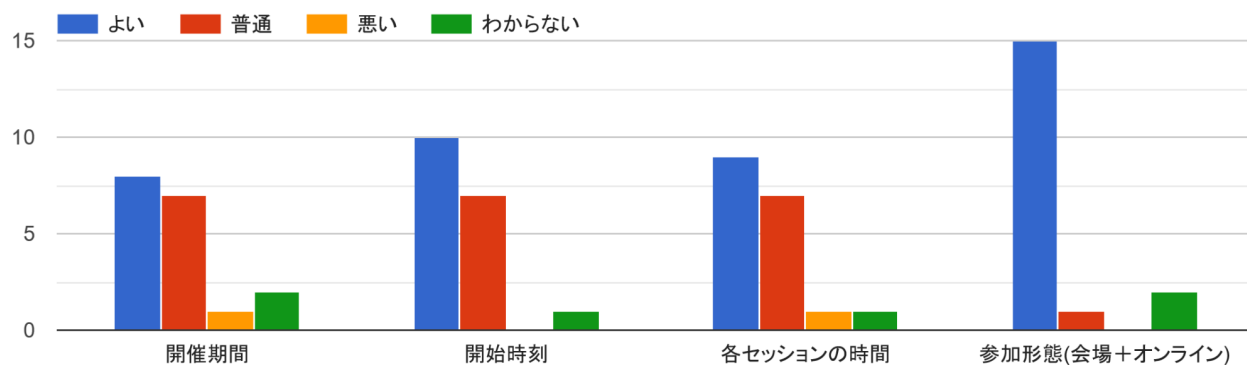


プログラム全体の印象についてお聞かせください。

18件の回答



開催形態についてお答えください。（選択理由を次の項目にご記入ください）



上記開催形態についての回答選択理由をご記入ください。

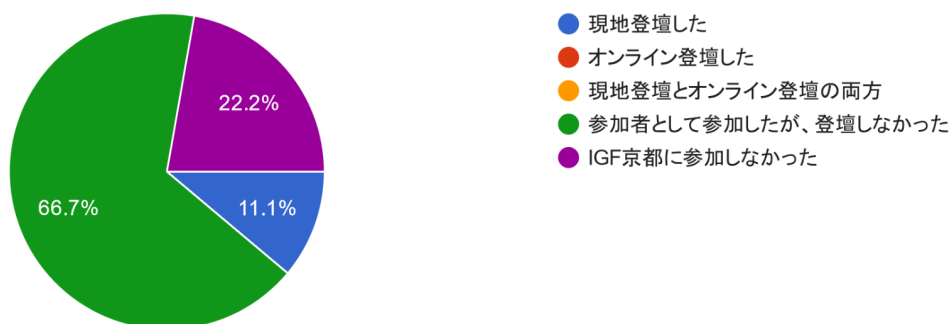
10件の回答

- 自分の業務との兼ね合いで比較的参加しやすい日時だったため好都合でした

- 遠隔地からの参加を可能にするためには、ハイブリッドで開催していただけるとありがたい。
- 事前に見たプログラムと実際がかなり異なっている。またday2はやや長かった。
- 夕方があと1時間早く終わればもっと良かったと思います。
- 仕事があっても参加できるため。
- 現地に行く時間が無い場合も、オンライン参加できるため。
- 簡潔にまとまっておわかりやすかったが少し時間帯が遅かった
- プログラムの半分以上参加できたので、まあよかったのかなと思います
- 会場に向かう間にオンラインでも聞けたので、助かりました。
- 結果論ですが年末の年末というのは出席するのに厳しいところがありました。

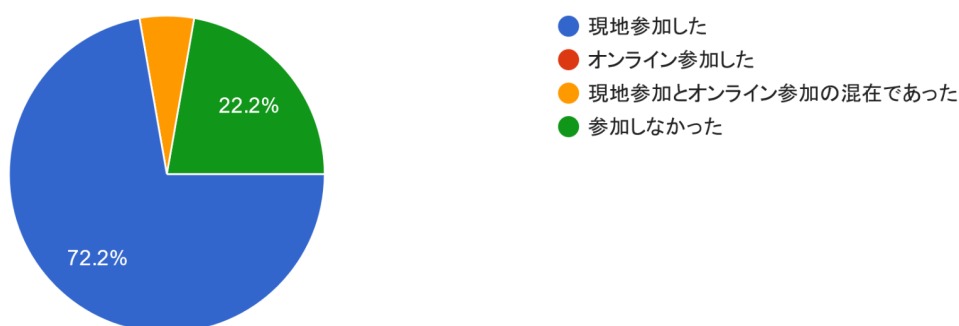
IGF京都2023に登壇しましたか？

18件の回答



IGF京都2023に参加しましたか？

18件の回答



その他、ご意見等ご自由にご記入ください。（報告会の形態、今後のIGF関連イベントへの参加、本イベント内容および運営に関する改善点やご提案、関心のある議論テーマ、聞いてみたい話者など）

9件の回答

- 登壇者としては、発表時間を自分の話せそうな量に応じて設定させていただけたこと、オンライン参加が可能だったこと、が助かりました。発表のご依頼を頂いたことで、自分の考えたことを振り返ってまとめる機会にもなり、よかったです。ターゲットとする視聴者、前提知識のレベル、会合のねらい（比較的内輪で得られた知見を共有する会合なのか、一般の方に広くIGF参加に興味を持ってもらう会合なのか、なども含め）、自分が依頼された理由、などを事前にお伺いしておけばよかったなと思いました。
- 次回のIGFに幅広い人が参加するように促すのか、リスクを伝えて注意喚起しつつ（自己責任で）行くこと自体は奨励するのか、リスクや思想的な観点から参加についていろいろな考え方がありうることを自体をとりあげて各人の判断を促すのか、いろいろなアプローチがありそうに思いました。
- 報告を伺っていて、重要な役職についている方々が様々なプログラムに参加したことはアテンションの証であり素晴らしいと思いつつも、評価尺度のひとつとしてそれをを用いる人が案外多かったことは意外でもありました。多様な人々の参加があることで得られる知見・気づきの報告が多くあった点はそれもあって安心しました。こちらにIGFの建前上の眼目があるような気がしていましたし、「古きよきIGF」を知る人からはそういうよさが失われたといった批判も耳にしたので。
- マルチステークホルダープロセスが効果を発揮する条件や設計などの解明はまだこれからではないか、という意味のご発言を最後に加藤さまがしていらっしゃいましたが、その通りだと思いつつ、民主主義に多くのバリエーションがあるように、マルチステークホルダープロセスも多種多様で、目的などに応じて適切な設計や条件も異なって来るので解明・定式化には非常に時間がかかるかも知れないとも感じました。

-
- UNのIGF活動に参加しその活動に貢献するのは、先進工業国である日本としての義務だと思っています。この活動を持続可能にするための具体的な検討をすぐにでも開始すべきだと思います。特に、Youthへのアプローチ（学校を通してのIGF教育の実施）が重要だと思います。また、UNレベルだけではなくAP地域での活動へのサポートやリーダーシップを取れる人材の育成も重要だと思います。

-
- JAIPA立石氏の活動に多少関わりがあったので、IGF京都會合にオンラインで参加したかったのですが、仕事の都合で全く参加できなかったため、この報告会で内容をフォローしようと思い参加しました。ただ、報告会も実際にはごく一部しか参加できなかったため、残念ながらIGFが全体としてどういうものだったかが把握できていませんが、さまざまな考

えや思いを持った多くの方が世界中から集まってきたことだけは、感じました。その程度の理解のため、確たることは言えませんが、IGFが単なるお祭りで終わらないように、会議の目的や取り組む課題をもっと具体化、明確化することが必要ではないかという印象を受けました。そういうことを通じて報告会もより有意義になると思います。

-
- 今回、より一層理解を深めることができ、今後も参加させて頂きたいと感じました。

-
- 現地にも見られなかったものやアーカイブチェックしきれていないものがあったり、登壇者や企画運営者側の話、いろいろな立場の方の話もきくことができ、参考になりました。今後もなるべく参加し、情報発信についてはスローでまだIGF京都2023のレポートも作成途中なのですが、今後も引き続きWatchしていきたいと思います。

-
- 2024年からの目的を決めたほうが、新たな参加者を集めやすいのではないかと思います。

-
- プログラムに、開始と終了の時刻しかかれておらず、タイムスケジュールが分からなかったので参加がしにくかった。
 - 休憩が不規則に入っていたので、時間通りに進行されるほうが良いと思う。
 - 各報告について、「提案した理由・概要・結果・気づき」といった構成を統一したほうが、参加していない人の理解が深まると思った。（セッションの概要説明が少なく、結果や感想が中心だった印象を受けた）
 - Day2の「日本の子供たちの国際コミュニティ参加のための取り組みについて」の今井先生の報告が、内容としても今井先生の取り組み内容としても大変興味深かった。
 - 現地参加者が少なかった

-
- 次回、次々回の開催地を考えると、IGFへの関心が低下するのは避けられないと思いますが、運営の方々には頑張ってくださいたく思います。APrIGFなどの関連イベントを通して、日本のこの分野での存在感を高めていただければと、願っております。

-
- 会場の設定が理由なのか分かりませんがZoomの接続が不安定になることがしばしばありました。当日の設定等についてご確認いただければと思います。